

みんなで考  
えよう!

# 障害者自立支援機器 ニーズ・シーズマッチング交流会

作る人と使う人の交流会

## Web交流プラットフォームを活用した交流方法



# 内容

- ・交流会の目的
- ・開催概要
- ・出展者情報
- ・Web開催の交流方法
- ・Web交流プラットフォームの紹介



# 交流会の目的

障害者に係わる支援機器を開発する企業等が開発途中および改良予定の支援機器を持ち込み、障害当事者の思いや要望をよりの確にとらえた支援機器開発につなげるため、障害当事者をはじめとしたニーズ側と開発者のシーズ側が自由に意見交換すること。

## 対象者

ニーズ側 障害者、家族、在宅・施設等の介護職員、医療・福祉従事者 等

シーズ側 開発メーカー、産業振興団体、行政、新規参入を検討する企業・研究者、大学関係者、研究機関 等



# 開催概要

入退場自由  
入場料無料

 Web開催	令和5年 <b>10月1日</b> 日～令和6年 <b>1月31日</b> 水 テクノエイド協会Web交流プラットフォーム内	
 大阪会場	令和5年 <b>11月27日</b> 月・ <b>28日</b> 火・ <b>29日</b> 水 開催時刻:初日13:00-17:00 / 9:00-17:00 (最終日のみ16:00) OMM (2階展示Aホール)	
 東京会場	令和5年 <b>12月12日</b> 火・ <b>13日</b> 水・ <b>14日</b> 木 開催時刻:初日13:00-17:00 / 9:00-17:00 (最終日のみ16:00) 東京都立産業貿易センター浜松町館 (5階展示室)	
<b>Web開催イベント内容</b>		<b>大阪・東京開催イベント内容</b>
Web上による開発企業及び支援機器の紹介動画の発信、掲示板やオンラインによる意見交換の実施		支援機器の展示・相談、デモンストレーション、意見交換の実施

## 【Web開催のイベント内容】

- ◆ 開発途中や 開発改良予定の最新支援機器の紹介
- ◆ オンラインで開発企業や開発支援機関、障害当事者団体と意見交換の実施
- ◆ 行政の取り組み、研究報告の動画配信
- ◆ 障害当事者団体へのインタビュー動画配信 等

## 【大阪・東京会場のイベント内容】

- ◆ 開発途中や開発改良予定の支援機器の展示、試用体験
- ◆ 出展者との意見交換、情報交換
- ◆ 会場より基調講演、特別講演、地域交流会の成果報告、開発促進事業の成果報告 等、様々な取り組みの講演を実施

# 出展者情報

## 出展企業等(93社)

- ◆ 身体障害(肢体不自由)
- ◆ 視覚障害(盲ろうを含む)
- ◆ 聴覚障害
- ◆ 高次脳機能障害(失語症等)
- ◆ 知的障害
- ◆ 精神障害(発達障害を含む)
- ◆ その他

## 開発支援に係る団体(4団体)

- ◆ 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
- ◆ 国立研究開発法人 情報通信研究機構(NICT)
- ◆ 厚生労働省
- ◆ テクノエイド協会(ATA)

## 障害当事者団体(9社)

- ◆ 日本視覚障害者団体連合
- ◆ 全国脊髄損傷者連合会
- ◆ 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会
- ◆ 日本ALS協会
- ◆ ポリオの会
- ◆ 日本身体障害者団体連合会
- ◆ 日本失語症協議会
- ◆ 全国盲ろう者協会
- ◆ ASD(自閉スペクトラム症)生活環境研究会



# Web開催の交流方法

1. ニーズ・シーズマッチング交流会のサイト、Web交流プラットフォームをクリック。
2. 交流したい出展企業や当事者団体・開発支援団体を画面上から検索、確認します。
3. 製品名をクリックすると各詳細ページに切り替わります。
4. 詳細ページ内の「出展者情報」より出展者情報・出展機器の紹介動画を視聴することができます。合わせて、交流したい内容もご確認ください。
5. 『問合せする』もしくは『投稿する』より出展者と意見交換を行えます。



# Web交流プラットフォームの紹介



# Web開催の交流方法

## Web開催プラットフォーム

### ニーズ・シーズマッチング強化学業

障害者福祉の現場において、真に必要とされる実用的な支援機器の開発・実用化を支援する一環として、開発の早い段階から障害者や支援者の「ニーズ（課題や要望）」と企業や研究者等の「シーズ（技術）」のマッチングを強化する事業となります。

障害者自立支援機器  
ニーズ・シーズマッチング  
交流会 2023  
作る人と使う人の交流会

入退場自由  
入場無料

Web開催 令和5年10月1日(日)～令和6年1月31日(日)  
テクノエイド協会Web交流プラットフォーム内

大阪会場 令和5年11月27日(日)・28日(月)・29日(火)  
開催時刻:初日13:00-17:00/9:00-17:00(最終日のみ16:00)  
OMM(2階展示Aホール)

東京会場 令和5年12月12日(日)・13日(月)・14日(火)  
開催時刻:初日13:00-17:00/9:00-17:00(最終日のみ16:00)  
東京都立産業貿易センター浜松町館(5階展示室)

Web交流プラットフォームをクリック





# Web開催の交流方法

## Web開催プラットフォーム

「会場」、「カテゴリー」、「フリーワード」より検索が可能です。

会場  東京会場に出展する機器  大阪会場に出展する機器

カテゴリー  A.身体障害（肢体不自由）  B.視覚障害（盲ろう含む）  
 C.聴覚障害  D.高次脳機能障害（失語症等）  
 E.知的障害（身体介護が必要ないケースを含む）  F.精神障害（発達障害を含む）  
 G.その他

フリーワード

93件の結果があります

出展者	製品名	製品概要	製品画像	カテゴリー	会場	問合せ等	動画
株式会社Ubitone	<a href="#">盲ろう者用携帯型生活コミュニケーション支援デバイスUbitone</a>	盲ろう者がUbitoneを装着することで健常者同様に現代のデジタル社会に溶け込んで生活できるようになる。Ubitoneはスマートフォンと繋がる手指携行型デバイスで、指文字法を用いて目の前の人との対話、友人とのチャット、ニュースやインターネット、天気、文字読取りなど、健常者が当たり前に触れる日常と同じ風景の中で日々を過ごすことができる。さらにUbitoneグラフ連携機器と組み合わせることで、体温計、体重計などの健康管理が可能になる。		視覚障害（盲ろう含む）	<input type="button" value="大阪"/> B-05 <input type="button" value="東京"/> B-06	<input type="button" value="問合せ"/> <input type="button" value="掲示板"/>	<input type="button" value="動画"/>
スレプトウェル	<a href="#">コレクトウェル</a>	頭下がり対策という新規の用途が明らかとなり、新規対応が求められている。 対象者：頭部や背部の筋力の低下により、頭部の重みを支える辛さを感じる方。頭部や背部の筋力低下が亢進し、軽度の頭下がりがあるも、自力で頭部を持ち上げることが可能だが、そのまま自力で保持し続けるア		身体障害（肢体不自由）	<input type="button" value="東京"/> A-28	<input type="button" value="問合せ"/> <input type="button" value="掲示板"/>	<input type="button" value="動画"/>

出展者の詳細ページに飛びます

# Web開催の交流方法

## 出展者の詳細ページ

機器動画を視聴できます。(出展者によっては動画が無い場合もあります)

資料の閲覧、ダウンロードができます。(出展者によっては動画が無い場合もあります)

前の機器へ 次の機器へ

視覚障害 (盲ろう含む)

株式会社Ubitone | カブシキガイシャ ユビトン 今までの閲覧数: 11

製品名(仮称を含む) 自ろう者用携行型生活コミュニケーション支援デバイスUbitone

### 出展者情報

大坂会場に出展 東京会場に出展 会場では実機を見ることができます。

**株式会社Ubitone**

住所 〒152-0033 東京都目黒区大岡山1-23-10

担当部署 本社

氏名 佐藤 光司

TEL 090-8064-3306

FAX

企業HP <https://www.ubitone.com/>

その他

### 出展機器情報

出展機器	自ろう者用携行型生活コミュニケーション支援デバイスUbitone
型番	UG-1, UPB-1, UHW-1, UAB-1
障害種別	視覚障害 (盲ろう含む)
機器の概要	盲ろう者がUbitoneを装着することで健常者同様に現代のデジタル社会に溶け込んで生活できるようになる。Ubitoneはスマートフォンと繋がる手描携行型デバイスで、指点字活法を用いて目の前の人との対話、友人とのチャット、ニュースやインターネット、天気、文字読み取りなど、健常者が当たり前に触れる日常と同じ風景の中で日々を過ごすことができる。さらにUbitoneクラブ連携機器と組み合わせることで、体調計、体温計などの健康管理が可能になる。
参考資料	<a href="#">Ubitoneパンフレット</a>

交流したい内容

盲ろう者や視覚障害者の皆様に実際にUbitoneクラブとその周辺機器を実際にご使用頂き、使い勝手を確認して頂きます。具体的には以下の項目について関心があります。

- ・クラブの装着感、操作性、受信感度
- ・連携するスマホアプリの使い勝手
- ・体調計の使い勝手
- ・小型電子点字キーボードの使い勝手
- ・歩行ナビゲーション用デバイスの使い勝手
- ・展示製品の事業化の可能性とあるべき価値
- ・展示製品が市場に認知されるために必要な改善点

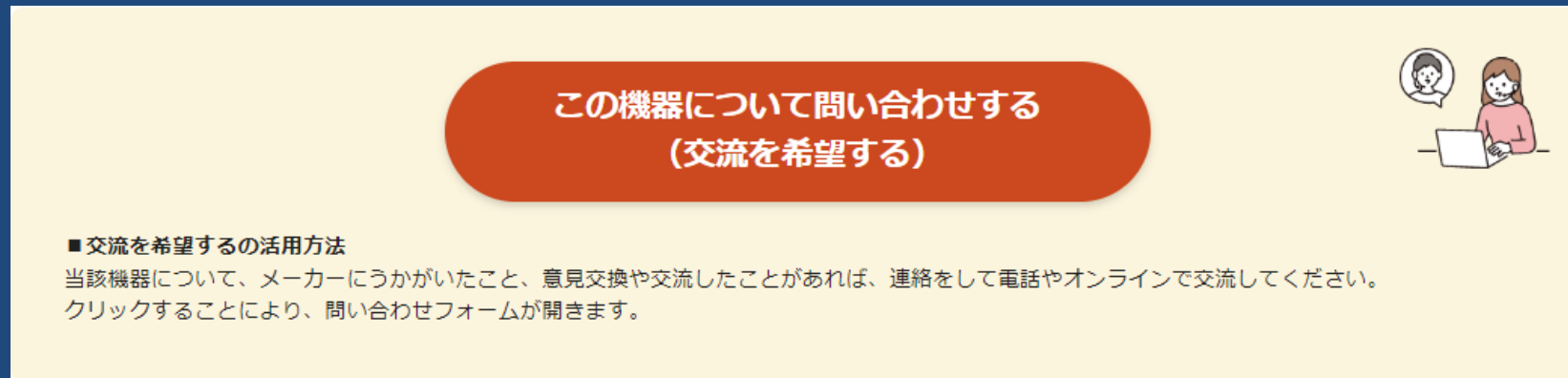
交流する前に、交流したい内容を一度、ご一読ください。

# Web開催の交流方法

2つの交流方法

「問合せする」又は「掲示板」を使って交流を行う。

## ① 問合せフォーム



この機器について問い合わせする  
(交流を希望する)

■交流を希望するの活用法  
当該機器について、メーカーにうかがいたこと、意見交換や交流したことがあれば、連絡をして電話やオンラインで交流してください。  
クリックすることにより、問い合わせフォームが開きます。

来場者が1対1で個別に出展者と交流を行いたい場合に使用します。  
問合せフォームの問い合わせ種別から電話やオンラインで交流等、交流内容を選択することができます。

# Web開催の交流方法

> 問い合わせフォーム

**問い合わせフォームの活用方法**  
当該機器について、メーカーにうかがいたこと、意見交換や交流したことがあれば、連絡をして電話やオンラインで交流してください。

ご入力      ご確認      完了

出展団体名      株式会社Ubitone

問い合わせ種別 **必須**      選択してください

名前 **必須**      詳細な説明が聞きたい  
ニーズ（要望や課題など）を伝えたい  
オンラインで顔を合わせて話したい  
機器について質問したい

企業名      資料が欲しい  
その他

連絡先 **どちらか必須**      TEL      例：00-0000-0000

メールアドレス      例：○○○@xxxx.xx.xx

問い合わせ内容 **必須**      テキストエリア

※この問い合わせフォームは、ニーズとシーズの交流を深め、実用的な製品の開発を推進するものです。支給制度や個別機器の誹謗中傷は行わないでください。

詳細ページに戻る      確認

# Web開催の交流方法

## ② 掲示板

この機器について新しく投稿する  
(掲示板)



### ■ 掲示板の活用方法

ニーズ側は、当該機器に対する要望やアイデア、課題を、シーズ側（出展者を含む）は、交流したい具体的な内容や機器の特長、会場出展に向けてのPRをそれぞれ記載してください。



来場者がオープン(来場者に公開)で出展者と交流を行いたい場合に使用します。  
匿名でも投稿は可能で、投稿内容は蓄積されてきます。  
出展者は出展機器に関する「情報発信」、「告知」にも使用します。

# Web開催の交流方法

## > 掲示板投稿フォーム

### 掲示板投稿フォームの活用方法

ニーズ側は、当該機器に対する要望やアイデア、課題を、シーズ側（出展者を含む）は、交流したい具体的な内容や機器の特長、会場出展に向けてのPRをそれぞれ記載してください。

ご入力

ご確認

完了

出展団体名

名前 **必須**

メールアドレス

投稿内容 **必須**

※この問い合わせフォームは、ニーズとシーズの交流を深め、実用的な製品の開発を推進するものです。支給制度や個別機器の誹謗中傷は行わないでください。

[詳細ページに戻る](#)

[確認](#)

# 基調講演について

障害者自立支援機器  
ニーズ・シズマッチング交流会2023 プログラム  
～ 基調講演 ～

大阪会場 11/28(火)13:30 / 東京会場12/13(水)13:30～(※ビデオ)

基調講演は、会場での開催となります。聴講を希望される方は、大阪会場又は東京会場へご来場ください。(無料)  
詳細は、テクノイド協会のホームページをご覧ください。

No	プログラム	講演テーマ	要旨	ご講演者	ご経歴
1	基調講演 11/28 13:30～ 12/13 13:30～ ※会場開催 となります。	ニーズを捉えた福祉機器の開発と評価 ～ 開発者と障害者に 求められること ～	近年、自立支援、練習支援、介護支援、情緒・認知支援のためにリハビリテーションロボットを含めた多くの福祉機器が開発され、実際に臨床現場でも使用されている。 しかしながら、開発者と障害者、そして障害者以外のユーザーの求めることにおける隔たりが、これらの普及促進への足かせになっていると感じることがある。 福祉機器の普及において、福祉機器に関わる者に求められるものが何であるかをあらためて考えてみたい。	佐賀大学医学部附属病院リハビリテーション科 診療教授 浅見豊子 先生 	医師免許証 義肢装具判定医 日本義肢装具学会義肢装具専門医 佐賀大学医学部附属病院先進総合機能回復センター 副センター長 他  ◆主な受賞 令和元年6月 内閣府男女共同参画局 女性のチャレンジ賞 受賞 平成30年11月 一般社団法人日本義肢装具学会 飯田賞本賞受賞 他

※交流会の会場では、開発中の支援機器等を数多く出展しております。また、セミナーも多数ございますので、是非ご来場ください。(無料)





# 昨年の東京会場の様子





# ご清聴ありがとうございました

公益財団法人テクノエイド協会  
企画部 宇田川 竜吾